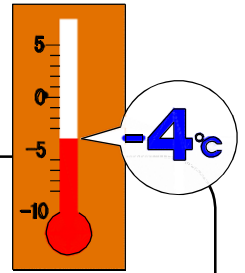


# 凍結による 水道管破損対策のお知らせ



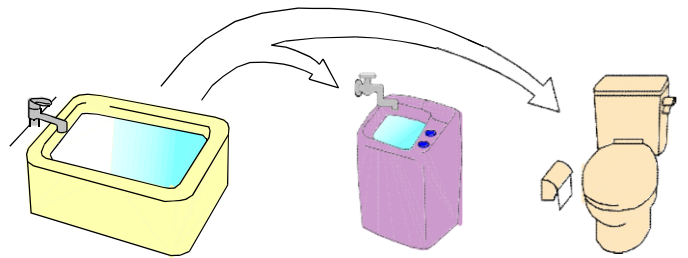
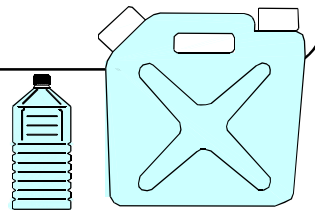
水道管が凍りやすくなるのはマイナス4℃以下になるときです。

水道管が凍る恐れ（凍結）のある場合は？

- ◆ 旅行などで家を留守にするなど、長時間水道を使用しないとき。
- ◆ 氷点下の日が続いたとき。
- ◆ 天気予報などで、冷え込むと予想されたとき。

## 1 水道管の凍結が予想されたら

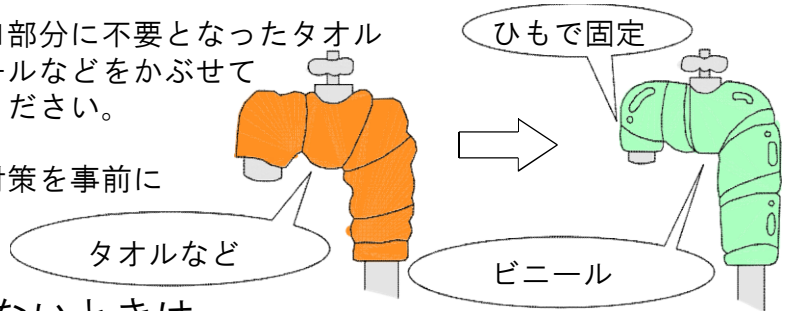
- ① 飲料水の確保をしてください。  
飲料水は一人1日3リットル×家族人数×2～3日  
程度を準備してください。
- ② 生活用水（洗濯やトイレの水）の  
確保も重要です。  
お風呂の残り湯はすぐに捨てずに  
溜めておきましょう。



## 2 水道管を凍結させないためには

- ① むき出しになった水道管や蛇口部分に不要となったタオル  
などで保温し、その上からビニールなどをかぶせて  
濡れないよう、ひもで固定してください。

（温水器等については、購入先に対策を事前にご確認ください。）



## 3 水道管が凍結して水が出ないときは

- ① 自然に溶けるのを待つか、凍結した部分にタオル  
などをかぶせてゆっくりと「ぬるま湯」  
をゆっくりとかけてください。  
（熱湯は管や蛇口を傷める恐れがあります。）



## 4 水道管が凍結して（破損 漏水）したら

- ① 止水栓を止めて、水道工事業者へ修理（有料）を依頼してください。